

指定管理者に関するモニタリングシート

黄色のセルを施設担当課が記入

1 施設の概要

(モニタリング実施年度: 令和 3 年度)

施設の名称	東大阪市立男女共同参画センター	指定期間	1 年度～	5 年度
		指定の方法	単体施設を指定管理	
施設所管課	人権文化部 多文化共生・男女共同参画課	連絡先	06-4309-3300	
設置目的	男女の性別に捉わられることなく、一人ひとりの能力と個性が生かされ、責任をわかちあい、生き生きと暮らす事ができる男女共同参画社会の形成を促進する活動の拠点施設として設置。			
施設内容・業務内容等	ホール・ギャラリー・研修室等の貸館業務、施設管理業務及び事業企画運営業務			
指定管理者	一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団	連絡先	072-960-9201	
人員体制	正規職員	8 人	パート・アルバイト	3 人 その他 人

2 管理運営状況等

年度	実績						今年度(予算)	次年度(見込)
	平成 30 年度	令和 1 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	
管理形態	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理	
供用(開館)日数	347	303	246	259	308			
指定管理委託料(千円)	88,912	82,270	79,970	80,410	79,970			
利用状況指標	1 利用件数(件)	5,665	4,916	3,096	補足説明 新型コロナウイルス感染症拡大のため、 ①令和2年3月1日～5月31日②令和3年4月25日～6月20日まで臨時休館。 令和元年10月から休館日をそれまでの第4月曜日から毎週月曜日に変更。	補足説明		
	2 利用者数(人)	163,266	137,584	46,742				
	3							

3 モニタリングの総括

「個別評価」(自動表示) : S=チェック項目が全て○、A=×がなく「得点」が中間点以上、
 B=×がなく中間点未満あるいは×が1個で「得点」が中間点以上、C=×が2個以上。
 「最終評価」(任意決定) : 個別の評価結果を踏まえて、評価者の裁量で決定する。

モニタリングの観点	施設担当課のモニタリング	
	個別評価 S A B C	評価できる点や要改善事項
A 行政視点 施設の設置目的が達成でき、事業の継続性が期待されるとともに、市民の安全の確保が図られているか？	A	当該施設の設置目的を理解し、協議書・仕様書に基づいた適切な運営が行われている。利用者増につながるように、事業内容の分析・検証等が必要であり、自らも積極的な提案を求める。また、危機管理においては、危機管理マニュアルの整備や定期的な防災訓練の実施など、利用者の安全の確保に努めている。
B 管理・運営能力 人員・予算等の資源を管理し、快適に施設や設備等を利用できる環境を整備しているか？	A	適切な人材配置のもと、良好な管理運営が行われている。清掃が行き届いており、来館者が気持ちよく利用できる施設となっている。防犯面においては、防犯カメラの複数設置、金庫や鍵などの適切な管理、現金の適切な取り扱いなど対策が取られている。備品に関しては、一部使用できない物があるため、有効利用できる様に整備していただきたい。
C サービス 平等な利用の確保及びサービス向上が図られているか？	S	公の施設にふさわしい平等なサービス提供がされている。職員の挨拶や言葉遣い、服装等についても問題ない。また、計画的に研修に参加できており、専門性の向上に努めている。
D 市民視点 市民の声が反映される管理・運営が行われているか？	S	講座やイベント開催時にはアンケートを実施しており、その結果を検証し反映しながらよりよい事業が展開できるよう努めている。また、施設管理面においても、毎年利用者アンケート・来館者アンケートを実施し、市民の意見を反映できるようにしている。また、ホームページの改善を行い、適切に情報発信できている。
E 効果・効率性 施設の効果を最大限発揮しようとするとともに、管理経費の縮減が図られているか？	A	性別や年齢を問わず、幅広い方にイコラームを知ってもらえるように男女共同参画に関する多彩な事業を展開している。事業の開催日や時間帯についても、講座のターゲット層を考慮し、より多くの方が参加できるよう内容によって変更しているが、利用者数が減少傾向にあることから利用率の向上が課題として挙げられる。
F 法令等遵守 法令や各種規則等を理解し、遵守することで、社会的責任を果たしているか？	S	法令や各種規則等を遵守している。個人情報の取り扱いや情報セキュリティについては、引き続き職員への周知徹底を求めている。
課題への対応 今後の取組	最終評価 (任意設定) A	今後もさらなる市民サービスの向上や管理経費の縮減のための取り組みに期待したい。